

学生派遣プログラム 「創立者のふるさと活動隊」2018について

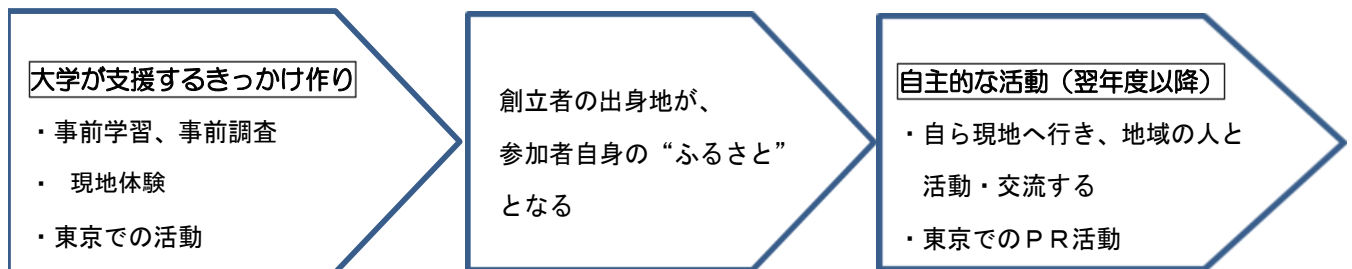
2010年に設置された社会連携機構のもとにおかれた地域連携推進センターでは、本学創立者出身地（鳥取県、同県鳥取市、山形県天童市、福井県鯖江市）と連携協力に関する協定を締結し、多様な連携事業を推進しています。

その取り組みの一つとして、2012年度からは創立者出身地への学生派遣プログラムを実施しています。このプログラムは、学生と地域の人々の交流・連携を通じて、創立者とその出身地について理解を深めることを目的としています。また、参加学生には、その地域を”第2のふるさと”と捉え、プログラム終了後も「創立者出身地のふるさと活動隊」として、地域活性化の取り組みに参加することを推奨しています。

2018年度のプログラムは、各地域別にテーマ設定を行い、参加者が活動を通して見つけた地域や人の魅力、よりよい地域づくりのための提案などを「活動報告パネル」と「パワーポイント資料」にまとめて成果物としました。

1. 「創立者のふるさと活動隊」について

「ふるさと活動隊」の活動任期は在学中とし、大学は参加者が創立者および創立者のふるさとを学ぶための支援・きっかけ作りを行います。参加者には、単年度での活動ではなく、在学期間をとおして創立者や地域への理解を深めることで、明治大学と地域をつなぐ架け橋となることを期待しています。



2. 2018年度の学生派遣（現地体験）プログラム

次のとおり実施しました。

(1) 鳥取県、鳥取市

テーマ：①岸本辰雄先生の認知度向上 ②鳥取の魅力発信と交流拡大

日程：8月20日（月）～8月24日（金）

参加者：5名（男3・女2）

(2) 山形県天童市

テーマ：首都圏の学生が考える天童市活性化への提言

日程：8月27日（月）～8月31日（金）

参加者：5名（男3・女2）

(3) 福井県鯖江市

テーマ：鯖江市のブランド力向上

日程：9月2日（日）～9月6日（木）

参加者：5名（男3・女2）

3. 現地体験後の活動

(1) 明治大学ホームカミングデー

日にち：10月28日（日）

内容：各地域物産展の販売補助および学生派遣プログラム活動報告会

「宮城浩蔵賞」受賞中学生キャンパス案内（天童市ふるさと活動隊が対応）

場所：リバティタワー2階（物産展スペース）

リバティタワー11階1113教室（活動報告会）

※「ホームカミングデー」は、明治大学の卒業生を招いて行う年1回の大学行事です。

※「宮城浩蔵賞」は、明治大学の創立者の一人、宮城浩蔵の名前を冠した天童市の表彰制度です。市内に4つある中学校からそれぞれ1名ずつ、品行方正・学業優秀・部活動や生徒会等で顕著な活躍をした生徒を天童市が選出して表彰します。2015年度から、受賞者をホームカミングデーにあわせて明治大学に招き、施設の見学や学生との交流、学長との懇談会を実施しています。

(2) 明治大学4キャンパスにおける成果パネル展

<和泉キャンパス>

期間：10月2日（火）～10月9日（火）

場所：第1校舎1階ロビー

<駿河台キャンパス>

期間：10月22日（月）～10月31日（水）

場所：アカデミーコモン1階展示ギャラリー

<生田キャンパス>

期間：11月12日（月）～11月19日（月）

場所：中央校舎1階ロビー

<中野キャンパス>

期間：12月10日（月）～12月17日（月）

場所：低層棟1階 アトリウム

<父母交流会（駿河台）>

日にち：11月25日（日）

場所：リバティタワー1階1012教室

※講演会「創立者の眼差し」（村上一博法学部長、野尻泰弘文学部准教授）会場に展示

以上